

第 1 1 章 啓発事業

市では、地球環境及び地域環境の現状について多くの市民、特に次世代を担う子供たちに情報を提供することにより、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、環境を守る取り組みの第一歩を身近なところから始めてもらうきっかけづくりを目的として次のような啓発・広報活動を行っている。

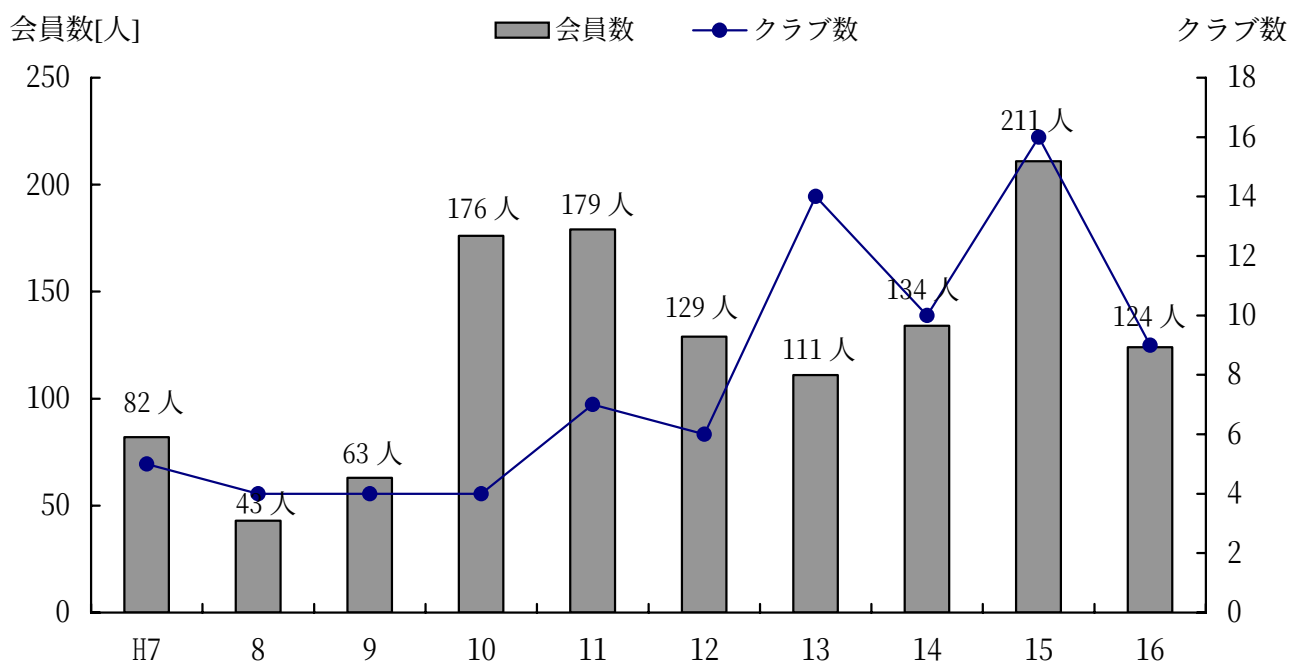
1. こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子供たちが主体的に行う環境学習及び環境保全に関する活動支援を目的として、平成7年度から環境庁（現環境省）が実施している。市も平成7年7月、環境課内に「こどもエコクラブ」事務局を設置し、以来、年間6回程度の自主開催イベントによる啓発活動を展開している。平成16年度、八代市からは9団体124人がこどもエコクラブ活動に参加した。

表－1 平成16年度こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況

団 体 名	会員数	団 体 名	会員数
あすなろ子供会	31	団体名なし	1
団体名なし	1	団体名なし	1
中田 どっと ネット	2	団体名なし	1
田嶋クラブ	1	こどもエコクラブひかり	82
古城なかよしクラブ	4		

図－1 こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況の推移



表ー2 平成16年度こどもエコクラブイベント実績

イベント名	開催日	開催場所	参加人数
春の野鳥観察会	平成16年4月24日(土)	球磨川河口	28人
ほたる観察会	5月28日(金)	ほたるの里公園	100人
水生生物観察会	7月24日(土)	ほたるの里公園	87人
干潟観察会	7月31日(土)	大島干潟	42人
夏期星空継続観察会	8月6日(金)	宮地東小学校	75人
こども緑の探検隊	8月20日(金)	八代城址公園・松井神社	52人
秋の野鳥観察会	11月14日(日)	球磨川河口	250人
冬の野鳥観察会	平成17年2月19日(土)	球磨川河口	雨天中止
合計			634人

① 野鳥観察会

球磨川河口における野鳥の観察及び干潟生態系における鳥の果たす役割についての学習等を通して、子ども達が身近な自然に親しみながら環境への関心を深めることを目的として開催。

八代野鳥愛好会の指導のもと、シギ・チドリ類等の観察を行った。



② ホタル観察会

ほたるの里公園（妙見町）に生息するホタルや餌であるカワニナの生態について学習し、生活排水が河川環境に与える影響について考えてもらうことを目的として開催。

公園周辺に生息するゲンジボタルを親子で観察した。

③ 水生生物観察会

身近な川の水環境を調べることを通して、水質汚濁や生活排水対策について考えてもらうことを目的として開催。

熊本県「川の水環境の調査方法」に沿って、透視度、パックテストによるCOD、pHの簡易調査及び指標水生生物調査を行い、河川の水環境評価を行った。



④ 干潟観察会

干潟に生息する生き物の観察やアサリの浄化実験等を通して、干潟の浄化作用、多様性などについて考えてもらうことを目的として大島干潟で開催。

環境課職員の講師による学習会後、干潟でコメツキガニ等の観察を行った。



⑤ スターウォッチング

全国星空継続観察参加によるもので、星空の観察という身近な方法による大気環境の調査を通じて市民の大気環境保全に関する認識を高めることを目的として宮地東小学校で開催。

光害について学んだ後、「こと座のベガ」等を八代星空の会の本田修さん、永原博英さん指導のもと観察した。



⑥ こども緑の探検隊

樹木の役割や地球温暖化について考えてもらうことを目的として八代城址公園にて開催。

「こども葉っぱ判定士」にならない、樹木が吸収する二酸化炭素の量を計算し理解するなど、樹木の重要性について学習した。



2. 環境学習出前講座「環境ゼミナール」

(1) 目的

環境行政に携わる市職員（環境課及び廃棄物対策課）が直接出向き、地球環境問題をはじめ、私たちの生活に身近な環境や自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境及び本市の環境の現状について考える機会を提供する。

(2) 派遣対象

市内の小・中学校、その他各種団体



環境ゼミナールの様子

(3) 内容

小・中学校等の希望する講座内容にあわせ、事前打合せを行ったうえで、簡易実験等を取入れながら実施している。また、水生生物観察会、干潟観察会等の野外活動や自然観察についても可能な限り対応している。



野外活動の様子：水生生物の分類

(4) 平成 16 年度環境ゼミナール事業実績

平成 16 年度実績は下表のとおり。依頼内容としては、水環境、地球環境問題に関する内容が多かった。

平成 14 年度 (23 回、1,061 人)、平成 15 年度 (23 回、949 人) と実施回数及び参加人数ともに大きな増減はないが、依頼対象が小中学校に限らず、様々な方面からの依頼が増加している。

実施日	依頼元	人数	内容
5 月 23 日	次世代のためにがんばろ会	50	ホタル鑑賞会
6 月 6 日	代陽小学校 PTA	120	葉っぱ判定士
6 月 10 日	八代中小工業クラブ	15	エコアクション 2 1
6 月 23 日	植柳小学校	61	水環境
6 月 23 日	八代地域婦人会連絡協議会	100	八代市の環境
6 月 24 日	未来の子どもたちのためにダイオキシンを考える会	50	ダイオキシン類
6 月 29 日	代陽旭老人クラブ	20	環境美化
7 月 1 日	八代小学校	75	干潟観察会
7 月 6 日	八代小学校	63	水環境
7 月 21 日	八千把婦人会	40	水環境
7 月 22 日	太田郷婦人会	45	水環境
7 月 30 日	八代更正病院	50	地球環境問題
8 月 10 日	いずみ児童館	35	星空観察会
8 月 18 日	松高婦人会	10	廃油石けん作り
9 月 30 日	八代東高校	15	ごみ問題、地球環境問題
10 月 1 日	麦島校区婦人会	10	廃油石けん作り
10 月 22 日	八代小学校	64	干潟観察会
11 月 11 日	第四中学校	5	水生生物・野鳥観察会
12 月 9 日	二見小学校	20	ダイオキシン類
12 月 13 日	金剛小学校	67	ダイオキシン類
12 月 15 日	宮地東小学校	10	ダイオキシン類
12 月 16 日	昭和小学校	13	ダイオキシン類
12 月 16 日	宮地小学校	32	ダイオキシン類
12 月 22 日	市老連明青大学郷土史部	35	地域及び地球環境問題
24 回 延べ 1,005 人			

3. 環境月間等

(1) 「環境月間」及び「環境の日」

6月5日は、ストックホルム国連人間環境会議の開催（昭和47年6月）を記念して決定された国連の「世界環境デー」である。わが国においても平成3年度から、6月を「環境月間」とし、環境保全活動の重点推進を図っている。

また、平成5年11月に制定された「環境基本法」では6月5日を「環境の日」と定めており、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい事業を実施するよう明記されている。市としてもクリーンな地域環境を維持、向上させるため次の活動を実施した。

平成16年度「環境月間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市職員エコ通勤	6月中	毎週水曜日、マイカーによる通勤を控え、徒歩、自転車、バス等の公共交通機関を利用した通勤を励行した。
市広報紙掲載	6月1日	広報紙「広報やつしろ」に環境月間行事等を掲載し、広く市民に周知することで、環境保全意識の向上を促した。
浄化槽の立入検査	6月2日	八代市、八代保健所及び浄化槽協会とで実施。使用者に適正な使用方法と維持管理の必要性を促した。
市職員清掃奉仕活動	6月4日	市職員が、松崎公園周辺の清掃作業を行った。
市内一斉清掃	6月6日	市政協力員等の呼びかけにより町内の清掃を行い、生活環境の美化に努めた。
球磨川流域一斉清掃	6月13日	球磨川をきれいにする協議会の後援で同協議会がきめた「球磨川の日（6月1日）」を記念し、球磨川流域の一斉清掃を行った。
廃棄物不法投棄 パトロール	6月25日	八代保健所と協力して市内の不法投棄場所を調査し、不法投棄者には指導を行った。
環境フェスティバル	6月27日	市民団体が主催する環境保全啓発イベントに参加した。環境パネル展示、チラシ及び啓発用品配布などを行い、環境保全について市民に啓発を行った。

(2) 平成 16 年度「環境衛生週間」

生活環境の保全及び公衆衛生を向上させるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である 9 月 24 日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である 10 月 1 日（浄化槽の日）までの期間「環境衛生週間」にあわせ、八代市では次の活動を実施した。

平成 16 年度「環境衛生週間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市内一斉清掃	9 月 26 日	環境衛生週間中に市政協力員の呼びかけにより、各町内の実情に応じて一斉清掃を行った。
浄化槽立入検査	9 月 28 日	各家庭の浄化槽を調査し、使用者に適正な維持管理を促した。
環境美化推進善行者表彰	10 月 7 日	日頃から住みよいきれいな地域社会及び美しい街づくりに尽力している個人、団体を表彰し、その功績を称えた。
環境美化推進研修会	10 月 7 日	市環境課職員が、環境美化についての講演を実施し、啓発を行った。

4. 松葉ダイオキシン類調査

(1) 調査目的

クロマツの針葉（以下、「松葉」）は、脂肪分が多く、呼吸を通じてダイオキシン類を蓄積しやすい性質を持っていることから、松葉を環境指標としたダイオキシン類調査が全国的に実施されている。

市として本調査を実施することにより、① 大気中のダイオキシン類の長期的な平均濃度が把握できる。② 市民参加型で取組むことにより、市民と分析結果等の情報が共有できる。③ 教育機関と連携することにより、環境学習としての効果が期待されることから、松葉によるダイオキシン類調査を平成 14 年度から実施している（平成 14 年度はクロマツの植樹を行い、分析検体の採取及び分析は、平成 15 年度から実施）。

(2) 調査内容

① 調査地点

市内の 10 小・中学校を下記の 4 つのグループに分けて、それぞれの地域の平均濃度を把握した。なお、ダイオキシン類についての事前学習を希望した 5 小学校では学習会を開催した。

第 1 グループ（球磨川北部地域） … 松高小、昭和小、宮地小

第 2 グループ（球磨川南部地域） … 高田小、金剛小、日奈久小

第 3 グループ（発生源周辺） … 第三中、太田郷小

第 4 グループ（対照地域） … 宮地東小、二見小

② 測定方法

生活共同組合グリーンコープ連合等が実施している調査との比較を可能とするため、摂南大学(大阪市)薬学部宮田研究室の手法に準じた方法とした。

(3) 調査結果

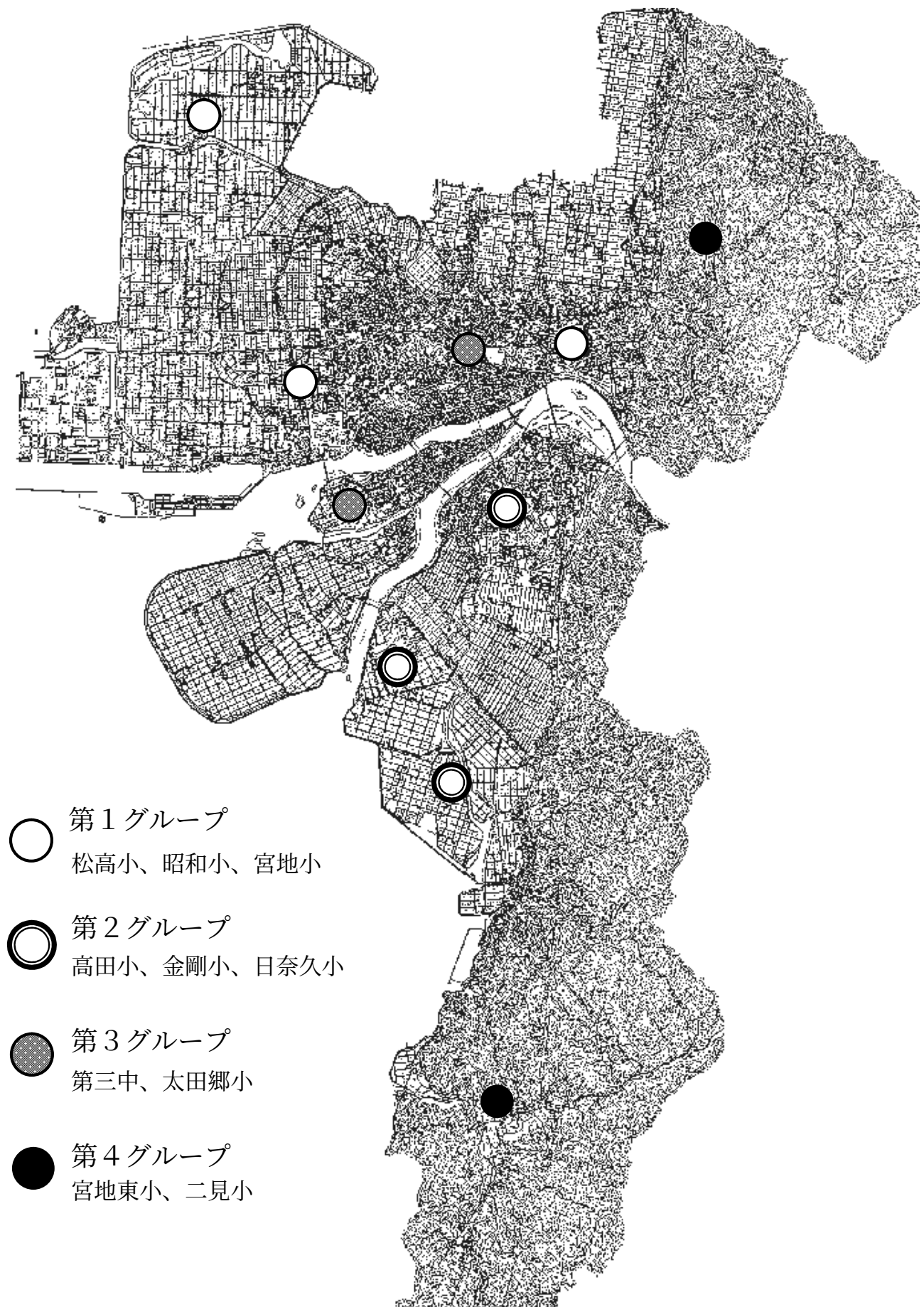
平成 16 年度の調査結果は下表のとおりで、今回得られた松葉中の実測値から大気中のダイオキシン類濃度を推定し、参考までに大気環境基準（年間平均値 $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）に照らしてみると、昨年度に引続き、全てのグループで基準値を下回っていた。

（単位）松葉：pg-TEQ/g 大気：pg-TEQ/ m^3

	平成 16 年度結果		(参考)平成 15 年度結果	
	松葉中 [実測値]	大気中 [推定値]	松葉中 [実測値]	大気中 [推定値]
第 1 グループ	0.90	0.090	0.76	0.076
第 2 グループ	0.87	0.087	0.31	0.031
第 3 グループ	0.73	0.073	0.57	0.057
第 4 グループ	0.33	0.033	0.27	0.027

※(株)環境総合研究所データによると、松葉中のダイオキシン類濃度の概ね 10 分の 1 が大気中のダイオキシン類濃度に相当すると言われている。

図－1 松葉ダイオキシン類調査地点



5. 広報活動

本市では、環境に関する身近な情報をいち早く市民に届けるため、広報紙やメディアを活用した広報活動を積極的に展開している。

(1) 広報紙「広報やつしろ」

発行月日	掲載内容
4月1日号	市営上片墓園使用者募集について 浄水器設置および水質検査補助制度 犬の登録と狂犬病予防集合注射
4月15日号	春の野鳥観察会参加者募集について 市営上片墓園使用者募集
5月15日号	ごみゼロの日 ほたる観察会参加者募集について
6月1日号	6月は環境月間 エコアクションやつしろ 春の野鳥観察会報告
6月15日号	環境フェスティバル春の野鳥観察会開催について
7月1日号	球磨川流域一斉清掃について 宮地新川カキ殻まつり
7月15日号	夏休みこどもエコクラブ特別企画第1弾の参加者募集について
8月1日号	環境フェスティバル報告 夏休みこどもエコクラブ特別企画第2弾の参加者募集について
8月15日号	私にできる地球温暖化防止（特集） ・ 八代市温暖化防止率先行動計画平成15年度の取組状況報告 くまもと・きれいな川と海づくりデーについて
9月15日号	シギ・チドリネットワーク参加決定
10月1日号	くまもと・きれいな川と海づくりデーの報告
11月15日号	市営上片墓園使用者募集
12月1日号	Stop! 地球温暖化（特集） ・ 地球温暖化について ・ 家庭でできる温暖化対策について 球磨川河口を渡り鳥の楽園に ーシギ・チドリネットワーク参加記念セレモニーー
3月15日号	犬の登録と狂犬病予防集合注射について

(2) ラジオ「FM やつしろ」による放送

放 送 日	放 送 内 容
平成 16 年 4 月 12 日	こどもエコクラブ会員募集と春の野鳥観察会参加者募集について
4 月 26 日	事業所ごみの減量対策について
5 月 10 日	ほたる観察会参加者募集について
5 月 24 日	ごみゼロ週間
5 月 31 日	環境月間について
6 月 7 日	きれいなまちづくり協定について
6 月 14 日	騒音・振動の規制事務について
7 月 12 日	夏休みこどもエコクラブ特別企画について（第 1 弾）
8 月 2 日	夏休みこどもエコクラブ特別企画について（第 2 弾）
8 月 16 日	生ゴミ減量キャンペーンについて
8 月 23 日	環境衛生週間について
8 月 30 日	シギ・チドリネットワークについて
10 月 4 日	台風災害廃棄物処理状況報告について
10 月 25 日	秋の環境課イベントについて
11 月 29 日	地球温暖化防止月間について
12 月 13 日	年末年始のごみ収集
12 月 20 日	犬を飼ってるみなさんへ
12 月 27 日	河川の水質汚濁
平成 17 年 1 月 24 日	不法投棄・野焼き防止について
2 月 7 日	資源回収活動助成事業について
3 月 14 日	狂犬病予防接種について
3 月 28 日	八代市の地下水と浄水器と水質検査補助制度について

(3) その他

① 環境フェスティバル（本町アーケード街、平成 16 年 6 月 27 日）

例年、八代の環境を考える会が環境月間行事の一環として開催している「環境フェスティバル」に参加した。約 20 の市民団体が参加しており、市も市民団体の自主的な環境保全啓発活動に平成 7 年度から参加している。

平成 16 年度は地球温暖化等の地球環境問題やごみ問題に関するパネル展示、リサイクル自転車の抽選やリサイクルロール紙の配布等を行った。

② やつしろ広域環境フェスタ（球磨川河川敷スポーツ公園、平成 16 年 11 月 19 日～21 日）

八代郡市で構成される八代広域市町村圏が共催した「九州スリーデーマーチ」の 1 イベントとして開催。地球温暖化をはじめとした環境問題について、圏域住民が一体となって取り組み、自然豊かなすばらしい「やつしろ」を次世代に引き継ぐ啓発の場となることを目的とし、環境パネル展示、環境クイズ、リグラスアート、資源の分別回収などを行った。

6. 自然環境の保全

○球磨川河口のシギ・チドリ類重要生息地ネットワークへの参加

シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク（正式名：東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク）とは、国境を越えて長距離を渡るシギ・チドリ類とその生息地を NGO 及び政府機関が協力して保全することを目的に 1996 年に発足した国際的なネットワークであり、平成 16 年 8 月に球磨川河口の参加が認証された。平成 17 年 3 月現在、11 カ国 35 箇所（国内 8 箇所）が参加している。

（1）経緯

平成 15 年 1 月 ：市がネットワーク参加を表明

平成 15 年 10 月 ：申請書を環境省へ提出

平成 16 年 8 月 1 日：アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全委員会にて、参加が認証される

平成 16 年 11 月 14 日：八代市ハーモニーホールにて参加記念セレモニーを開催

（2）参加地概要

名称：球磨川河口

面積：球磨川河口両岸の約 180 ヘクタール

参加基準（0.25%）を満たした種：キアシシギ、ソリハシシギ、チュウシャクシギ



参加記念セレモニー



フライウェイオフィサー Warren Lee Long 氏(右)から参加認定証を受取る
中島隆利市長（左）